



国際ロータリー第2600地区

上田六文銭ロータリークラブ

Rokumonsen Rotary Club



2015-16年度  
国際ロータリー会長  
K.R “ラビ” ラビンドラン  
第2600地区ガバナー 望月 宗敬

【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神 4-24-1 上田東急REIホテル3F  
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002  
http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/

《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30  
《例会場》上田東急REIホテル2F  
《創立》1997年2月18日

●会長 西澤 文登 ●幹事 横沢 正 ●会報委員長 松澤 一志 ●副委員長 中澤 信敏 ●委員 柄澤 堯/鹿志村 恭彦

例会日誌



司 会 横沢 正君  
開会点鐘 北村 久文君  
委員会報告  
プログラム委員長 生川秀樹君  
11-12月プログラムについて  
プログラム **クラブフォーラム**  
**「今後のクラブを考える」**

幹事報告



横沢 正君

- RI より
  - ロータリーソウル国際大会のご案内
- 米山記念奨学会より
  - ハイライトよねやま 187号
  - 9月の寄付金傾向
- 望月ガバナー事務所より
  - 2015-16年度地区大会御礼
  - ユネスコ書き損じハガキ回収運動ご協力のお願い
  - 「第8回全国RYLA研究会」開催のご案内
  - 第2600地区ロータリー財団寄付明細表
- 「君にとどけ in うえだ」実行委員会より
  - コンサート御礼と及びご報告

恵送

- 桐生赤城 RC 様、上田 RC、上田東 RC、上田西 RC 様…会報

全会員配布物

- 当クラブ会報 第 866 号

その他

- 先日のヴァイオリンコンサートのフランス・サンジロン・クーズラン RC 様とバナー交換をいたしました。また、演奏者マリー・カンタグリル様の CD をいただきました。
- 次週 11 月 3 日は祝日のため休会です。次回例会は 11 月 10 日です。理事会もごぞいます。

出席・ニコニコBOX報告



小嶋 修一君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	22	8	-	63.64%
前々回	23	5	3	91.30%

杉山 裕君 最近、太郎山山頂と太郎山神社が別の場所であることを知りました。また登る理由ができました。

山崎博太君 今が紅葉、黄葉まっさかり！

水野泰雄君 今週末のコンペよろしくお願ひしますー♪

飯島俊勝君 秋です、朝夕寒くなりました。風邪などひかないように。

北村久文君 木枯らし一番寒くなりました。

田中栄一君 秋の気温の良い日が続きますね。





生川秀樹君 プログラム委員長の生川です。  
 本日から 11 月末にかけて大  
 幅にプログラムを変更します。

柄澤 堯君	鹿志村恭彦君
小嶋 修一君	松澤 一志君
西澤 尚夫君	宮原 宏一君
斉藤恵理子君	横沢 正君

プログラム



クラブフォーラム

テーマ「今後のクラブの在り方を考える」

現在、当クラブは昨年度に続いて会長エレクトが決まらず解散か存続かの危機に直面しております。そこで、今年度の会報の記録から、この点に関する経緯を簡略にまとめてみました。

第 853 回例会 (2015.7.7)

会長就任の挨拶

- ・ 会員全員が真のロータリアンになることこそクラブ強化の最大目標
- ・ 上田六文銭 R C は地域社会にとって無くてはならない存在だと世間に知らしめるような存在になりたい

第 856 回例会 (2015.7.28)

会長卓話

- ・ 規模よりも質の高いクラブを目指そう
- ・ 会員一人ひとりが品のよい真のロータリアンを目指すことが肝要
- ・ 地域一番質の高いクラブになろう

第 857 回例会 (2015.8.4)

クラブフォーラム

テーマ「六文銭クラブの存在意義を問う」

- ・ 会長から、クラブの状況と課題として 17 点を指摘される (詳細は会報参照)

第 859 回例会 (2015.8.25)

クラブフォーラム

テーマ「今後のクラブ活動について」

- ・ 会員の意見を聴取する

第 860 回例会 (2015.9.1)

会長挨拶

- ・ 会長就任前は 6 割がたクラブの解散を考慮したほうがよいと考えていたが、今はクラブを残すことを真剣に考えている

第 863 回例会 (2015.9.29)

クラブフォーラムのまとめ

- ・ これからはクラブを存続させるというベースに立って、さしあたっての課題にどう対処していくかということに向かって進んでいく

第 865 回例会 (2015.10.13)

会長エレクト選考委員会の経過報告

- ・ エレクト選出の前に、クラブの在り方について沢山の意見を聴取すべきとの結論になる

第 867 回例会 (2015.10.27)

クラブフォーラム

テーマ「今後のクラブを考える」

- ・ 65 歳以上とそれ以下に分かれて意見を交換



(会報委員会)





**NHK 大河ドラマ真田丸放映直前  
真田ガイド養成事業 途中報告**

職業奉仕委員長 中澤信敏



今年度の  
2600 地区  
重点事業に  
位置づけら  
れた「職業  
奉仕の具現

化」を目指すため、若い人々に機会を開き、観光客などのニーズに応えながら、その世代の生活の質を高めるために、会員の職業経験を活かした観光ボランティアガイドの活動を通じ、青少年を対象にした「真田家をテーマにした寄付講座（出前講座）」を 10 月 20 日（火）に実施しました。

この内容はビデオに記録しましたので、今後編集した映像をインターネットの YouTube に載せ、市内小中学校に対して教材として活用をするよう促す予定です。

今後、ガイドを受けた生徒たちや、この映像を見た地域の子どもたちが、郷土愛を育みながら、観光客とおもてなしとしての対話をするきっかけとなれば幸いです。

**実施概要**

- 日時 平成 27 年 10 月 20 日（火）  
9:00～16:00
- 場所 上田市観光課、上田城跡公園内、旧上田藩主館跡、上田商工会議所前、原町商店街、柳町、池波正太郎真田太平記館を巡る。
- 対象 上田市立第五中学校  
2 学年の生徒 6 名  
※職業体験学習の一環として実施
- 講師 上田市観光課 甲田さま  
上田市観光ボランティアガイドの 5 名（西澤文登さん含む）
- 協力 ビデオ撮影・編集 成澤和昭さま

9 時～16 時の長時間にわたる出前講座でしたが、ガイドの皆さんのユーモアと気遣いあふれる内容で、生徒たちは普段見慣れているようで気に掛けていなかった先人達の足跡を学ぶ良い機会だったと思います。

生徒たちの集中力が切れ掛かった午後は一時ハラハラしましたが、その中でもガイドさん達の心遣いとゆとりのある運営で、全般的にはガイドの皆さんのお話にだいぶひきつけられていたのかと思います。

以下、生徒たちの感想です。  
 男の子 A 上田のことを知れて本当によかった。歴史に興味を持った。歴史を知れてよかった。  
 男の子 B 一日通して、地域の詳しい、楽しいこととか、歴史とか、上田のことを色々知れて勉強になった。  
 女の子 A 自分の知らない上田の歴史をたくさん知れて、良い体験ができた。このことを通して色々な人に伝えられたら良いと思った。  
 女の子 B 今日一日上田の色々なところを周って知らないことをたくさん知れた。行ったことの無いお店も行った。楽しかった。  
 女の子 C 自分の知らない上田城とか、上田の街を知れてよかった。これから上田の歴史とかの勉強を深められればいいなと思った。  
 女の子 D 上田市の魅力を知れた。友達とかにも色々な人に伝えたい。



**2015 第 3 回上田六文銭 RC  
親睦コンペ報告**

秋晴れの中、10 月 31 日(土)に親睦コンペが望月東急ゴルフクラブで開催されました。  
 六文銭クラブハンディ戦で、優勝は柄澤さん、準優勝は西澤(尚)さんでした。  
 ニアピン・ドラコンは来年の干支の「猿」のボールで、真田六文銭に因んで飛距離アップの猿飛記念ボールです。

次回の予定は 11 月 14 日(土)です～皆様の参加をお待ちしております。





真田三代豆知識

真田昌幸の生い立ちと出世

西澤 文登

真田昌幸の生まれは天文 16 年（1547）と言われています。父は真田幸隆、母は河原隆正の妹と伝えられます。昔は今のようない戸籍謄本などありませんから残されている手紙や日記、戦記などから歴史家が類推するのです。幸隆はこの前年あたりに武田信玄に臣属しています。子供の頃の名前は源五郎といいました。村上義清が越後に逃れた天文 22 年（1553）に信玄のもとに人質に出されたといひます。信玄はこの褒賞に幸隆に秋和の地 350 貫文を与えています。中世の頃は石高でなく貫文をその土地から収穫できるだろうという単位に使いました。この頃の 1 貫文は大体 3 石位であろうと思われます。ちなみに元和 8 年（1622）真田氏から仙石氏への引き継ぎの際には 2 石 4 斗 7 升の換算になっています。つまり幸隆は本貫地の真田地域のほかに秋和約千石の地を得たこととなります。

人質は証人とも言いますが、謀反を起こしたり裏切ったりしないという忠節の証として主に預けるもので、戦国時代は当たり前に行われていました。もし実家が謀反を起こしたりすると命を奪われる可能性がある過酷な身の上というわけです。徳川家康も少年時代に今川家に人質として出されておりました。しかし昌幸は信玄に寵愛され人質というより修行に出されたという意味合いが強かったようで、信玄の奥近習として扱われています。武田家のことを伝える甲陽軍艦（こうようぐんかん）にも源五郎の名で度々登場しています。

ところで武田信玄は近習や譜代の者に「昌」の字を与えて命名しています。曾根昌世、金丸（土屋）昌統、三枝昌貞、長坂昌国、飯富虎昌等々。昌幸も信玄から与えられた名前でしょうし昌幸の弟昌春もそうです。昌春は後の加津野信尹（かづののぶただ）です。武田滅亡後は一貫して徳川家康の臣として働いています。昌幸の長兄は信綱で次兄は昌輝（まさてる）ですが、名前から類推すると昌輝も近習並みに信玄から遇されていたのかも知れません。幸隆が秋和の地を宛がわれた時に昌輝、昌幸、昌春三兄弟が一緒に信玄のもとに人質として送られていた可能性もあります。



NHK  
「真田太平記」  
より

真田 昌幸父（丹波哲郎）  
武田家に仕えたのち、織田、北条、徳川、上杉、豊臣と主君を代えながら生き残りを図る。草の者（忍者）を駆使して天下の動きを掴み、大胆な策略で信州の一豪族だった真田家を戦国大名にまで拡大した。

いつの頃かははっきりとは分かりませんが昌幸はその後武藤家の養子として入り武藤喜兵衛尉（むとうきへいのじょう）と名乗ります。甲斐国志に「信玄の奥近習六人の一人なり 裁量人に超ゆ 武藤は信玄の母方なり 昌幸をして其の家を続がしむ 因つて武藤喜兵衛尉と称す」と記述されているそうです（上田市誌）。武藤家は信玄の生母・大井夫人の実家大井一族であり、昌幸はその女婿としてではなく主の夭折に伴う名跡相続であったということです。信濃先方衆から出た者が武田家の親類衆とも言うべき一員となったわけですから異例の出世でありました。

武藤喜兵衛は信玄の旗本としてその後も使番や検使役として各地の戦いに参戦し武功を挙げます。足軽大将衆として位置付けられておりました。勝頼の時代になっても武田氏側近として重要な役目を担い勝頼からは頼りとされておりました。長篠の敗戦で当主を失った真田家の跡は昌幸が継ぎます。昌幸 29 歳でした。天正 3 年（1575）10 月、本領真田で父や兄の治めていた各所に安堵状を交付し自身は吾妻の白井城に城代として入り吾妻だけでなく上州全般にかかわる任務をこなすようになります。多忙の毎日だったことでしょう。

